

一農ネット交流会「失敗から学ぶ！農業経営のススメ」

in 農林水産省を開催しました！

平成30年12月7日（金）、農林水産省（東京都千代田区）で「一農ネット交流会」を開催しました。今回は独立・自営就農して間もない方や就農前の研修中の方を中心に、北海道や東海地域の方も含め15名にご参加いただきました！

【第1部：講演「失敗から学ぶ！農業経営のススメ」】

2部構成で行われた今回の交流会。第1部では、農業経営上の失敗をテーマに、先輩農業者の鈴木啓之さん（鈴盛農園）と栗本めぐみさん（KURI BERRYFARM）からご講演いただきました。

鈴木啓之さんは、愛知県碧南市で人参を主力として根菜類を栽培しており、7色の人参「しあわせのカラフルにんじん」は農園の名物です。平成26・27年には全国農業青年クラブ連絡協議会（日本4Hクラブ）の会長を務めた経験もお持ちです。

鈴木さんからは、就農当初、無農薬という理想を追い求めすぎて病害虫の被害により栽培に失敗し、先輩農業者のもとに学びに行った経験や、規模拡大の焦りから非効率な農地の借り方をしてしまい、その後は15分圏内の農地に限定することに決めたこと等をご紹介いただきました。交流会参加者の皆さんへは「失敗は誰もがすること。失敗から学び、次の燃料にできるかどうかが大事」「新規就農者が直面する壁は、先輩たちが乗り越えてきた壁だから絶対に乗り越えられる」「皆さんも一緒に日本の農業をカッコよくしていきましょう」とのお言葉をいただきました。



栗本めぐみさんは、静岡県御前崎市でいちごの高設栽培に取り組まれています。農業女子プロジェクトメンバーであり、「幸せのリング、光るいちご。」の名でブランド化を推進するいちごは、第23回静岡県いちご果実品評会で農林水産大臣賞を受賞しています。

栗本さんからは、雇用したスタッフとの関係づくりの失敗から働く環境の改善に取り組んだこと、いちごの生産量に走り品質を落としてしまったという失敗後にゼロから出直し、現状を正直に共有することで信頼を築いた話などをいただきました。交流会参加者の皆さんへは、「失敗をして、それを自分で認められなかったり気付けなかったり、人のせいにしたりするのはダメ。全て自分の責任。」「失敗・反省・改善の繰り返しから、人とのつながり・広がり・めぐりあいが生まれている」とのお言葉をいただきました。



参加者からは、「失敗はあなたの責任という言葉にはっとさせられた」「失敗をプラスに活かす行動力を見習いたい」「悩みを抱える自分への励みになった。自分も工夫していきたい」等の声が聞かれ、皆さんそれぞれに学んだ部分があったようでした！



【第2部：農業の「働き方改革」実行宣言ワークショップ】

第2部は、グループごとのワークショップ形式で、農業の「働き方改革」実行宣言を皆さんに作成していただき、その場で発表していただきました。

“自分の働き方を見つめ直す”と“経営上の課題を洗い出す”という2つのステップで、まずは自分の年間の作業や休日・労働時間を書き出していただき、そこから見えてくる経営上の課題や自分に今不足していること、そしてそれらに対する解決策をグループ内でディスカッションしていただきました。それぞれ考えを深めた後は、その中から取り組んでみようという目標を「働き方改革」実行宣言として作成していただきました。

先輩農業者の失敗談を聞いた後だからでしょうか。それぞれが自分の農業の課題や現状の悩みを正直に話され、各グループで和やかに意見交換が行われました。「休みの確保や技術の習得の課題を見つめ直すことは、一緒に働く人や家族とのコミュニケーションの改善に繋がる」という意見や、「ほ場間の移動など間接的なコストの課題に対し、導線設計をしっかりと立てると、コスト削減だけでなく、品質の確保にも繋がる」「背伸びをせずに、まずは自分にできることをやって品質向上を目指そう」という意見が出ていました。



最後に皆さんが発表された実行宣言は、「農業の仲間や地域の人と共につくる農業を目指したい」「一緒に働くスタッフや消費者が幸せになれるような野菜を作りたい」「楽しむことを目指し、様々な農業の可能性を探りたい」といった、今回参加された15名それぞれの農業に対する思いが詰まったすばらしい宣言となりました！

交流会に参加していただいた皆さん、ありがとうございました！

今回の交流会が、皆さまの今後の農業経営に役立つことを期待しています！

